



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：杉山 昌行 副会長：鳥山 優子 幹事：木村 義広 会報委員長：青山 紀美代

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2018年 8 月 9日 第 3166 回 週報第 3166 号

| | | | | | | | |
|-------------|----------|----------|--------------|-------------|---------|--------|-------------|
| 本日 8 月 9日 | 会員数 59 名 | 対象者 57 名 | 出席者 46(44) 名 | 出席率 77.97 % | | | |
| 前々回 7 月 26日 | 会員数 59 名 | 対象者 57 名 | 出席者 41(39) 名 | 出席率 69.49 % | MUP 0 名 | 計 41 名 | 修正率 69.49 % |

本日の卓話者ご紹介

2018-19年度 RI2780地区ガバナー
脇 洋一郎様



卓話

「ガバナー公式訪問卓話原稿」

2018-19 年度 RI2780 地区ガバナー
脇洋一郎 (茅ヶ崎湘南 RC)

皆様こんにちは。今年度の国際ロータリー 2780 地区ガバナーを務めております脇洋一郎です。平塚ロータリークラブの皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

私は 1 月 14 日から 21 日までサンディエゴで開催された、2018RI 国際協議会に参加してまいりました。

国際協議会の目的は、世界の 539 の地区からガバナーエレクトを招集して、激励と意欲の喚起、次年度に向けての RI のテーマの説明と実施、RI の最新の優先項目と推進活動に関する最新情報の提供等を行うものです。

今回は 100 名以上の女性ガバナーエレクトが参加していました。参加者は配偶者とともに参加します。研修は 6 日間連続して続きました。研修の内容は全員参加の本会議と日本からの参加者で構成される分科会、各国の参加者との交流行事などでした。

到着した日の午後 7 時 30 分より開会本会議が開催されました。イアン・ライズリー RI 会長の開会挨拶に続いて、バリー・ラシン RI 会長エレクトの講演がありました。ここで次年度の RI 会長テーマ「インスピレーション

になろう」とテーマ・マークが発表されました。バリー・ラシン会長エレクトはカリブ海のバハマ諸島の出身で、テーマ・マークは波の模様、テーマ・ネクタイはオーシャンブルーを基調にしたものです。

RI 会長テーマの説明の前に、まずラシン会長エレクトの講演の主要な部分をご紹介します。

「私たちに与えられた責任は、可能な限り効果的かつ効率的に奉仕することによって、情報の透明性と説明責任を重んじながら、そして、意義があり、持続可能な方法で、できるだけ多くの人により良い変化をもたらしながら、先人たちの活動の上に築き、将来のために堅固な土台を築くことです。ロータリーで会員が最高の経験ができるように、そしてロータリーが、今年度や次年度だけでなく、ロータリーでの私たちの活動、ひいては私たちの生涯を超えて成長し続け、世界に役に立っていただけるようにしながら。」

ここでのキーワードを次に示します。

1. 効果的かつ効率的に奉仕する
2. 意義があり、持続可能な方法で、より多くの人に変化をもたらす
3. 先人たちの活動の上に、将来のために堅固な土台を築く
4. ロータリーの活動が成長し続け、世界に役に立つようになる

講演の中でこの発言に続いて次の言葉を強調されました。「それが、ロータリーのリーダーとしての私たちに託された仕事です。この思いは、ロータリーの新しいビジョン声明を作るためのインスピレーションになりました。この声明は、私たちが築きたいと願うロータリーを顕しています。」ビジョン声明をいかに示します。

ビジョン声明

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

New Vision Statement

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change-across



the globe, in your communities, and in ourselves

この声明は昨年6月のRI理事会で承認されたものです。私は今回初めて目にしましたが、今後はこの声明がロータリーのビジョン・将来像を示す言葉として重要となりますので、この声明の趣旨をよく理解することが大切です。実際に国際競技会の中では、地区内のクラブ、ロータリアンに周知を図るようにとの要請がありました。

ラシン会長エレクトはこの声明について以下のように説明しています。

「ロータリーで私たちは手を取り合います。なぜなら、協力すれば、一人よりもずっと強くなれると知っているからです。

私たちは行動します。なぜならロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。

私たちは持続可能な変化を生みます。私たちの活動が終わった後にも未永く続く変化を。世界での変化、地域社会での変化は、私たちが決して会うことのない人や、最愛の人を含め、すべてに影響します。

そして、おそらく一番大切なのは、自分自身の中での変化でしょう。

ラシン会長はなぜこのようにロータリーの変化を強調するのでしょうか。この声明のキーワードはChange-変化です。講演の次の部分を紹介します。

「ロータリーの会員数はこの20年間ずっと120万人程度で低迷しています。成長しておらず、会員の高齢化が進んでいます。活動を通じて変化をもたらすための知識や意欲を持たないクラブがあまりにも多すぎます。ロータリーが世界でどんな活動をしているのかを知らず、ロータリーと財団のプログラムを知らないクラブ、参加方法がわからないクラブもあります。」と述べています。

現在、世界には伝統と格式を重んじる先進国のロータリークラブと、援助と支援を求める発展途上国のロータリークラブが併存しています。世界の会員数120万人の枠組みは同じでも、アジア、アフリカ等の会員の割合が増加しています。古くからのクラブの中には従来の自分たちの方針を変えようとしないうクラブが存在しています。

RIはポリオ撲滅に代表される世界的課題に取り組むために、クラブが地区リーダーシップ・プラン、クラブリーダーシップ・プランそしてRI戦略計画を取り入れて、RIの方針を受け入れる方向に変化することを期待しています。バリー・ラシンRI会長はこのような変化を起こすために「インスピレーションになろう」のテーマを取り上げたのです。そして次のように語りました。

「皆さんがここにきた目的は変化を生み出すことへの意欲を、クラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせるためです。もっとなにかをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事なのです。」

「バハマ人である私にとって、海は常に特別なものでした。海は『隔たり』と『つながり』の両方を象徴します。祖国の島の岸に立つとき、海のむこうの何千マイルも離れた岸に誰かが立っています。土地、国、言語は違いますが、同じ海を共有しているのです。

このつながりの感覚は、インスピレーションであり、届かなそうでありながら、実は思うよりもずっと近いも

のへのあこがれです。大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。」

「より良い世界を作りたいなら、プロジェクトを計画したり、任務を割り当てることから始めないでください。

インスピレーションから始めてください。

ロータリアンの魂、すなわち、より良い世界への切望、そして、より良い世界を作ることとは可能だという、心の奥底にある真の自覚を呼び起こすことから始めてください。」

この部分はRI会長エレクトテーマ「**インスピレーションになろう**」の核心に触れています。次の言葉です。

ロータリアンの魂**より良い世界への切望****より良い世界を作ることとは可能だ****心の奥底にある真の自覚を呼び起こす**

「私たちの標語『超我の奉仕』からインスピレーションを得てください。そしてロータリーを通じて行動するよう、人々にインスピレーションを与えてください。」

次にラシン会長エレクトは「ポリオ撲滅活動」とインスピレーションとの関係について語ります。

「私たちの多くにとって、この30年間にロータリー全体を一つに結び付けてきた活動、『ポリオ撲滅活動』がインスピレーションとなってきました。

30年前、野生型ポリオウイルスによって麻痺を発症する人は毎年推定35万人、そのほぼすべてが子供でした。3年前にはこの数は74人でした。2年前には37人。そして昨年は21人でした。」

ラシン会長エレクトはこのように語り、30年前にロータリーがポリオ撲滅活動をスタートした時を振り返り、ロータリーにとってポリオ撲滅活動こそがインスピレーションであったと指摘しています。

私はこの言葉を聞いて、ロータリーとインスピレーションとの関係を理解しました。重要なことは意識改革です。それぞれのクラブ、そしてロータリアンがインスピレーションを働かせてロータリーに変化をもたらす発想の転換を行い、新しい発想のもとに新しい奉仕活動を開始することが大切です。

その偉大な実例が私たちの先輩が取り組んできたポリオ撲滅活動です。30年前にロータリーが提唱してスタートし、そしてWHOをはじめとする国際機関と連携して撲滅活動を推進し、現在は根絶まであとほんの少しのところまできたポリオ撲滅活動。ポリオ撲滅活動を提唱した先輩ロータリアンの方々の尊いインスピレーションと使命感があったからこそ、今日まで継続して、もう少しで撲滅が達成できるところまで来たのです。

ポリオがいかに悲惨な病であるか、私には小学生の時の鮮烈な思い出があります。小学5年生の時、私のクラスに三橋君というクラスメートがいました。彼は右半身が麻痺していて、歩くのも話すのもかろうじて可能という状態でした。彼の症状については担任の先生から何の説明もなく、私たちは生まれつきのものだろうと同情しておりました。

ある日の算数の授業の時のことでした。先生が黒板に数式を書いて、だれか解ける人はいませんかと問いかけ



ました。難しい問題だったので誰も手を挙げませんでした。そのとき急に三橋君が立ち上がり、たどたどしい足取りで黒板に歩み寄り、震える手で見事に正解を書いたのです。私はびっくりしました。授業中はいつもぐったりと椅子にもたれかかっており、あまり話さなかった三橋君、実は彼は素晴らしい才能の持ち主だったのです。彼は幼いころポリオに感染して神経が麻痺し、その後遺症に苦しんでいたのです。その影響で虚弱体質だった彼は成人式を迎える前に亡くなりました。ポリオが三橋君の将来を奪ってしまったのです。

実に悲惨な出来事でしたが、ロータリーがポリオ撲滅活動に着手する以前にはそのような悲惨な状況が世界中に広がっていたのです。30年前にロータリーのインスピレーションがもたらしたポリオ撲滅への決意と実行、そして今日まで続いたゆまなき奉仕活動の継続が、この悲惨な状況を劇的に変化させたのです。私はロータリアンとしてこのことを誇りに思います。

R I 会長テーマ「インスピレーションになろう」は各クラブ、ロータリアン各位がインスピレーションを働かせて、ロータリーに変化をもたらし、新たな奉仕に結び付けることを目指しているものと考えます。今年度このテーマのもとに皆様とともに、より良い奉仕を目指したいと思います。皆様よろしく願いいたします。



脇ガバナー、百瀬ガバナー補佐を囲んでの記念撮影

ガバナーとの懇談会報告

幹事 木村義広

8月9日(木)の例会終了後に脇ガバナー、百瀬ガバナー補佐を交えてガバナーとの懇談会を開催しました。懇談会には、クラブからガバナー補佐経験者や会長・幹事・会長エレクト・副会長、大委員会委員長や新会員など22名が参加しました。

まず、脇ガバナーからご挨拶、杉山会長の挨拶につき、平塚 RC からの参加者の自己紹介が行われました。そして、奉仕プロジェクト委員会 高橋賢二委員長と公共イメージ委員会 柳川正人委員長から、クラブでの取り組みの事業報告が行われ、ガバナーからは「平塚クラブは、大変歴史がありしっかりとした取り組みをされて



います。引き続き今年度も計画に沿って、事業をすすめられたらとよろしいのではないのでしょうか。」との感想をいただきました。

参加した平塚 RC 会員からの公共イメージ向上取り組みのための地元マスコミへのプレスリリースを行う際の注意点や米山奨学生学や学友の方々とお話をする、彼らがこの制度に大変感謝していることから、ロータリアン一人ひとりがより米山奨学生とふれあいを深めることをすすめたらいかか、インターアクト・ローターアクトについての意義や活動について見解を伺ったりしました。

また、ロータリーでは「職業奉仕」という言葉を耳にしますが、職業奉仕について具体的にどのような内容を言うのか解説も頂きました。そして、クラブ運営について夜間例会の例会時間・例会の回数等、例会の取り組みで、活性化しているクラブについての事例を紹介いただきました。

最後に懇談会の感想としては、脇ガバナーには事前に質問事項をお知らせしていただきましたので、日本国内を始め世界各国の事例を交えて、長年のロータリー活動の知識・経験を通じて非常に多くの具体的なお話を頂きました。また、多くの疑問が理解でき、平塚の基金の取り組み方向、例会のあり方などを含め、ロータリーが大きく変革して行かなければ成らない位置に居ることを改めてご示唆頂き、認識させて頂きました。

新会員からも多くの質問も出され、これからの平塚ロータリークラブの活力になる懇談会であったと感じました。



例会後のガバナー、ガバナー補佐との懇談会





卓話者ご紹介

第2780地区ガバナー
脇 洋一郎(わき よういちろう)様

所属クラブ: 茅ヶ崎湘南ロータリークラブ
生年月日: 昭和24年(1949年)10月15日
職 業: 有限会社 脇木材店 代表取締役
最終学歴: 明治大学法学部法律学科卒
ロータリー歴:

| | |
|-------------|--|
| 1990年4月 | 茅ヶ崎湘南ロータリークラブ入会 |
| 1995年度～96年度 | 茅ヶ崎湘南ロータリークラブ幹事就任 |
| 2003年度～04年度 | 茅ヶ崎湘南ロータリークラブ会長就任 |
| 2004年度～05年度 | 地区副幹事 |
| 2006年度～07年度 | 地区ロータリー情報委員会 副委員長 |
| 2007年度～08年度 | 地区ロータリー情報委員会 委員 |
| 2008年度～09年度 | ガバナー補佐(第4グループ) |
| 2009年度～10年度 | 地区広報委員会 委員長 |
| 2010年度～11年度 | 地区ロータリー情報委員会 委員長 |
| 2011年度～12年度 | 地区クラブ奉仕委員会 委員長 |
| 2012年度～13年度 | 地区R財団資金推進委員会 委員長 |
| 2013年度～14年度 | 地区R財団資金推進委員会 委員長 |
| 2014年度～15年度 | 地区研修委員会 委員 |
| 2015年度～16年度 | 地区研修委員会 副委員長 |
| 2016年度～17年度 | ガバナーノミニー 地区戦略計画委員会 委員、 地区危機管理委員会 委員 |
| 2017年度～18年度 | ガバナーエレクト、オンツー・トロント委員長 地区戦略計画委員会 委員、 地区危機管理委員会 委員、 地区立法案検討委員会、 姉妹地区委員会 委員、 地区ロータリー財団委員会 委員 |

ポール・ハリス・フェロー／マルチプルPHF／
メジャードナー／ベネファクター／
ポール・ハリス・ソサエティー会員／米山功労者メジャードナー



三週分の誕生祝いとなり、8名の会員が祝福されました

幹事報告

◎2018-19年度 地区大会のお知らせ

会期10月13日(土)～10月14日(日)
第1日目 10月13日(土) 鎌倉パークホテル
12:30～ 会長・幹事会
14:30～ 指導者育成セミナー
17:30～ 晩餐会
第2日目 10月14日(日) 茅ヶ崎市民文化会館
9:00～ 受付・登録
詳しい内容はお手元の資料をご覧ください。

◎先週ご連絡を致しました平塚信用金庫ひらつか信友会創立20周年記念の野球評論家の原辰徳氏の講演会の申込が本日までとなっております。

日時:平成30年9月3日(月) 午後2時30分会場
午後3時開演

会場:平塚市中央公民館
3名のお申し込みができますので、ご希望の方は事務局までお申し出ください。

◎来週16日(木)の例会は定款により休会となります。翌週の23日(木)は移動例会で24日(金)18:30よりの「第68回湘南ひらつか花火大会」見学会となります。お間違えの無いようご注意ください。

委員会報告

・親睦委員会 委員長 今村佳広

8/24(金)第68回湘南ひらつか花火大会、まだ若干の空きがあり参加申し込み希望の方はお帰りの際、事務局まで。音と光の素晴らしい花火が見られると思います。お楽しみに。



メークアップ (MUP) 0名

本日のスマイル 25名

ゲスト 2名

茅ヶ崎湘南ロータリークラブ 脇洋一郎ガバナー
大磯ロータリークラブ 百瀬恵美子ガバナー補佐

ビジター 0名

卓話・行事予定

8月30日(木) 入会記念卓話 益山賢太会員

市内例会変更 現在ございません。

